

猪名川町では支給されるヘルメットや反射タスキやシール。市では就学援助世帯へのヘルメット支援だけ、これも十分ではありません。

子ども達の活動や経験に経済的格差が影響、格差拡大につながることは避けなければなりません。

受益者負担・自己責任という言葉によって、義務教育の中学生に影を落とすことがないように、国や自治体の財政的確保を求めながらオール川西の取り組みになっていくことを期待しています。

東谷中・清和台中へ通う北陵・けやき坂地域の生徒は、自転車通学を認められており、そのまま地域クラブに出かけていますが、他

車に乗ってクラブへ通うことになっていきます。今後、自転車通学が拡大していくならば、駐輪場の確保やスマホなど連絡ツール、安全対策の

今回、来春の大規模道路交通法の改定のこともありますので、市道2190号線(川西)猪名川(清和台)のように、歩道が極一部しかない、路側帯の中や溝への蓋掛け対応など歩行者や自転車が逆走・歩する道路を取り上げ、校外の地域クラブへ通うことも達の安全のためにも、他市町と連携しながら道路の点検・改善(街灯を含む)を行うことを強く求めると共に生徒や保護者にも注意喚起・啓発を求めています。

こどもの声を受け止めて

(下の写真参照)

生徒側から、学校内での行事や委員会活動などを終え、地域クラブへ通うと活動時間が短くなる、交通費など経済的な負担軽減を求め、部活難民になってしま...といった意見を、市は真摯に受け止め対応するべきです。



聴こえの8030運動 80歳になっても30デシベルの聴力を保てるように

兵庫県下20自治体で補聴器補助(加齢性難聴)実施中

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が推進する80歳で30dBの聴力を保つ国民啓発活動「聴こえ8030運動」がはじまって1年をむかえます。

全国で、加齢性難聴者数は、1437万人と推定され、60歳以上の3人に1人、70歳以上の約半数が該当すると推計されています。

難聴は認知症のリスク要因のひとつと考えられています。我が国の耳鼻科受診率は大変低くなっています。また、先進国と比較して補聴器装着率は約3分の1、人工内耳普及率は約2分の1と大変低い状況にあります。

良い聞こえで高齢者の健康寿命をサポートする目的で「聴こえ8030運動」がはじまりました。

80歳で30dBの聞こえを維持している割合を現状の30%から20年後には50%への伸長を目標として啓発や取り組みが行われようとしています。

また、市では新生児聴覚検査費用助成事業(住民税非課税世帯、同等の所得水準)や事業所検診(コリスによる)における聴力検査が実施されていますが、最近では、児童・生徒を含むイヤホン・ヘッドホンによる難聴についても警鐘がな

そこで、市として「聴こえ8030運動」を啓発・進める取り組みや

支援することを提案しました。

老人保健健康増進等事業促進

高齢者の健康寿命を伸ばす取り組みとして、気づかないうちに聴力が弱くなっていたり、医療費や補聴器代の負担が大きいため放置したままになっていることがあり

難聴を早く見つけて、適正な手立てを行うことが必要なので、市として、聴力検査の実施、補聴器購入補助制度の創設を求めました。

現在、補聴器購入補助制度は、43都道府県453自治体、近隣では、猪名川町、丹波市、明石市など兵庫県下(41市町)では20市町で実施中(約49%)です。

金沢市では、65歳~74歳の方へ聴力検査、様々な高齢者層に「緑内障健診」「もの忘れ健診」「若年性18歳~39歳健診」を実施、若年性健診を集団健診で受ける時には、保育サービスを受けることができ

また、中野区では65歳以上の方

早期発見と手立てが必要

今、難聴は高齢者だけの問題ではありません。ヘッドホンやイヤホンなど大音量や長時間使用で、こ

どもや若者の難聴が増えています。老化だけでなく、過度な刺激によって、耳の有毛細胞の睫毛が抜け落ちてしまうと、元に戻りません。世界保健機構(WHO)や厚生労働省も警鐘をならしています。

市では、新生児聴覚検査助成制度(住民税非課税世帯上限5千円)がありますが、先天性難聴の発見に役立つものですから、すべての新生児に無料で検査を受けるようにすべきこと、就学時健診や学校健診(全学年)で聴力検査を義務付け実施するよう求めました。

また、軽・中度難聴児補聴器購入費助成制度は、18歳までなので、せめて大学や専門学校生の年齢まで助成を拡大するよう求めました。補聴器の耐用年数は約5年と言われています。維持するための電池や乾燥剤など経済的な負担が大きくなっています。

難聴の障がい者手帳取得は、ハードルが高く、国や自治体が支援できる制度が必要です。誰もが、社会参加・活動することができるよう、これからも粘り強く取り組んでいきます。



市道2190号、路側帯の中が狭く(写真右側)溝に蓋掛けがないため、逆走せざるをえない生徒

*本会議場での質問や討論は、議会ホームページからご覧いただけます。黒田が使用した資料は、黒田のブログ・たんぼぼだよりやInstagram、Facebookにピン留めしていますので、ご覧ください